

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回上尾市環境審議会	
開催日時	令和6年7月31日(水) 14時00分～15時30分	
開催場所	上尾市役所議会棟4階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)氏名	磐田 朋子(会長)	
出席者(委員)氏名	【委員】 小川 早枝子、島津 秋男、平田 通子、海老原 直矢、宮本 利章、柴原 邦夫、市村 英一、松本 弘子、新井 力、生井 圭子、佐藤 正太、長谷部 由佳、安田 信一、田中 充、前 真之、矢田部 隆志 以上17名	
欠席者(委員)氏名	鈴木 敏資、吉田 彬	
事務局(庶務担当)	【上尾市】 環境経済部 藤田部長、田中次長併農業委員会事務局長 環境政策課 大竹課長、櫻井ゼロカーボン推進室長、大橋主査、櫻井主任、中村主任 【東京電力パワーグリッド株式会社 埼玉総支社】 【株式会社ナレッジリーン】 中平 貴之、緒方 奈央子	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 開会 (2) 委員紹介 (3) 議題 ①令和5年度第3次上尾市環境基本計画の進捗管理について ②第3次上尾市環境基本計画の改定スケジュールについて (4) その他 (5) 閉会	①次回の審議会までに、進捗管理シートの内容を充実させ、正確性を高めるよう修正。
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1 名
会 議 資 料	(1) 令和6年度第1回上尾市環境審議会 次第 (2) 資料1 第3次上尾市環境基本計画 概要版 (3) 資料2 第3次上尾市環境基本計画 進捗管理 (4) 資料3 第3次上尾市環境基本計画 業務指標進捗管理シート 【一覧(再掲除く)】 (5) 資料4 第3次上尾市環境基本計画実行施策 進捗管理シート【一覧】 (6) 資料5 第3次上尾市環境基本計画改定スケジュール(令和6年度)	
議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 2024年8月14日 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> 議長(委員長・会長)の署名 議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ) </div> <div style="text-align: center;">  <hr style="width: 200px; margin: 0 auto;"/> <hr style="width: 200px; margin: 0 auto;"/> </div> </div>		

議事の経過

議事① 令和5年度第3次上尾市環境基本計画の進捗管理について

→次回の審議会までに、進捗管理シートの内容を充実させ、正確性を高めるよう修正。

《議事要旨》

・本計画は、令和3年度から12年度までの10年間を計画期間に、4つの「望ましい環境像」を具現化するため、「自然環境」や「都市・生活環境」など6つの環境分野に対して5つの計画指標を設定しており、この計画指標を達成するため、18項目の「実行施策」について、進捗管理を行っている。

・18項目の「実行施策」に対して、全66項目の「業務指標」が設定され、それぞれ、市の担当所属において実行・管理し、年に1回、進捗状況が報告されており、計画の進捗状況を把握している。

・資料2に基づき、令和5年度の「計画進捗度」は、43の項目において目標を達成したことから65%となり、「評価」は「概ね順調」となっている。

・資料3に基づき、業務指標の主だったものの達成状況について説明。

・今回の進捗管理をとりまとめ、評価等を行い、年度末までに冊子化した年次報告書を作成し公表する。

《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
海老原委員	資料2の評論の雨マークの低調だった部分については、基準年度よりも下がっている部分も含めて示していただいていると思うが、基準年度よりも下がっていて進捗が届かなかった項目がある中で、別の項目を選んでいる理由がよく分からない。対策が可能な項目が選ばれている印象を受けた。 記載した項目を選別した基準はあるか。
事務局	選別の基準そのものについては特に設定していないが、委員が仰られたように、今後改善に努められる可能性の高いものを優先して事務局で選択している。
海老原委員	より困難な状況にあるのは、基準年度よりも下がっていて進捗が届かなかったもの。項目としては、1、2、18、19、25、34、36、43、55、57。こうした、できなかったところの理屈やそれに対する対策というのが重要だと思うので、改めてここにどういったものをピックアップするのか、あるいは、資料2で書かずに資料3で書いてあっても構わないが、いずれにせよ基準年度よりも下がっている項目にも関わらず、対策が書かれているわけでもなく取り組んだ内容しか書かれていないものについて

	ては、対応していただきたい。
事務局	基準年度より下がったものについては、担当課にヒアリングし、今後の対策等を含めてお示しできるよう修正する。
市村委員	担当部署の取組は非常に大事であるが、評価の基準をヒト、モノ、カネ、可能性、重大さ、難しさといったものを加味したような進捗ができるといいと思う。実際の効果に結びつく、見方があるといい。 また、指標の方向性については、矢印が上向いているのに「×」となっていたり、表をザクっと見たときに違和感があった。
事務局	環境については、全てを底上げしていくことが重要であると認識している。担当課のほうでも、どれが大切で、どれが大切じゃないという順位がつけづらいというところがあったので、このような表になっている。別の評価の仕方ができるか検討する。 また、矢印については、数値が下がっているのに「○」が付いている項目を判別するために事務局でつけたものである。
小川委員	資料1の表紙に、「自然とのふれあいや良好な景観を大切にしている」という言葉があるが、本当にあまいと思う。もう少し、皆さんの知性をくすぐるようなレベルの高い表現をそろそろ使ってもいいのではないかと。市が実際に取り組んでいる内容を市民に分かりやすく提案していくのがよい。 また、生物多様性について、理解している人は、ほぼ皆無である。学習会を開いて、生物多様性とはどういうことか説き明かしていき、知らない人にも知ってもらえるような取組が必要である。
事務局	「望ましい環境像」の文言の修正につきましては、第3次上尾市環境基本計画策定時の文言となっているので、この部分そのものを変えることは難しい。今後、市として事業や内容を通じていろいろ発信していくことが必要であると感じた。
生井委員	資料3の4番目のアライグマの駆除について、目標値が170頭で駆除数が222頭なので達成したこととなっているが、実際の生息数等を考慮する必要がある。他市と共同して生息数等を確認して実施したほうよいのではないかと。どのようにすれば収束していくのかという目標値がないのではないかと。
事務局	アライグマを含めた野生の外来種の実態の把握は非常に難しい。近隣等と連携しながら予測値として今回170頭という数値を示していた。それを上回れば数字上は目標を達成したということになっているが、年々増えている傾向にあるので、今後新たな対策を講じる必要があるのではと事務局から生活環境課へ伝達する。
磐田会長	海老原委員からも指摘があったように、資料3のところに書いてある「実際に取り組んだこと」というのが、割と肯定的なことしか記載がない。先程から指摘があったように、その裏には、対策しなければならないことがあるということ織り込んで今後まとめていただくといことで、いかがか。
事務局	承知した。
新井委員	62番のクリーン上尾運動については、家族連れよく参加させていただいている。子供たちは、吸い殻等の小さいゴミまで一生懸命集めている。35番の一人当たりごみ回収量は「×」となっているが、子どもたちに環

	境意識を植え付けるという意味では、非常に成功している取組だと思えますので、引続きよろしく願います。
事務局	<p>クリーン上尾の指標は2つありまして、ごみ量は「×」となっている。これは、街のポイ捨てが減っていかねばいけないという考えのものである。参加していただいたお子さんたちには感謝申し上げる。</p> <p>62番の参加人数は増加しており、新井委員の仰ったとおり、環境美化に対する皆様の意識は高まっていると思われるので、今後もクリーン上尾運動については、力を入れていきたいと考えている。</p>
海老原委員	<p>資料3の目標値と実績値がない32、46、47については、今後いつ値が出てくるのか。また、32には目標値と実績値がないが「○」となっているが理由は。</p> <p>資料4の5-5と15-14は、同じ内容の実行施策だが、違う評価の書き方をしている。担当課が違うからだと思われるが、内容を統一したほうがよいのでは。</p> <p>あとは、実行施策に書いてあることをやったのかどうかを評価してくださいと話をしたと思われるが、そうっていないものがある。具体的には、2-1、3-5、8-10、10-2、13-2、13-5、14-4、15-5、15-6、17-5、18-3。書いてあることをやったのか、やっていないのか、それについてどのくらい進捗があったのかが書かれていないとこれを出す意味がなくなってしまうと思うので、再度検討いただけたらと思う。</p>
事務局	<p>32については、5年に1度実施される農林業センサスの数字を使っているためである。32が「○」になっている理由及び46、47については、確認し回答する。</p> <p>(⇒32については記載誤り。4647については5年に1度実施される住宅・土地統計調査の数字を使っているため。)</p> <p>2点目については、内容と結果が合致しない部分について、時間的な問題もあり、担当課とのヒアリングが浅かったところが原因だと思われるので、イコールとなるような内容に変えてお示ししたい。</p>
平田委員	食品ロスを減らすために、学習会以外の取組はないのか。
事務局	こちらについては、食品ロスを学習会の内容として、たまたま選んだだけである。啓発に関しては、パネル展の実施やフードパントリーをホームページで案内する等、様々なことをやっているが、学習会の参加者数という目線で見ると食品ロスの関心が低かったのではと事務局としては感じている。食品ロスも大切なことであるが、学習会の参加者の数字を挙げるといって考えると市民が何について興味があるのか踏まえたうえで学習会の内容を考えたい。
平田委員	フードパントリーという浸透しているかどうか分かる指標はないのか。
事務局	食品ロスに関しては、いろいろ形態があり、フードパントリーやフードドライブで社会福祉協議会さんと協力して実施する等、様々な部分があるので数字でお示しすることは難しい。
磐田会長	何か指標となるものを引き続き検討していただきたい。
事務局	承知した。
小川委員	食品ロスに関しては、環境推進協議会で実施した学習会である。推進協議会で会議をして、食品ロスもいいんじゃないかというレベルでやったも

	のである。食べ物の話であれば、市民も関心があるのではないかと考えた。 私は、参加者が多いからいい集まりであるとかは、そんなことは全くな いと思っている。少なくとも継続してやっていけばいい結果が出るかもし れない。そうした追跡調査ができなかったことに関しては申し訳なく思っ ている。
磐田会長	これらの指標に改定も今後検討の中に入ってくると思うので、引続きプ ラスアルファでこのような指標がいいのではというご意見があれば、直接 事務局に相談いただければと思う。 進捗管理シートの内容については、凄く多くの意見を頂いたので、事務 局は再度各担当にヒアリングをしていただき、内容の充実や正確性を高め るということで対応いただきたい。
市村委員	来年度の進捗管理シートでは、シートに記載する必要はないが、目標値 の設定根拠を事務局で把握しておいていただきたい。
事務局	そういった部分も含めて、検討していく。

議事② 第3次上尾市環境基本計画の改定スケジュールについて

→事務局案のとおり了承。次回審議会では、審議会委員が計画改定に対して意見を述べることができるタイミングを示すこととなった。

《議事要旨》

- ・資料5に基づき、第3次上尾市環境基本計画の令和6年度分改定スケジュールについて説明。
- ・現行計画の策定から5年度を経過した令和7年度が中間見直し時期となっていることから、今年度と来年度の2カ年をかけて第3次上尾市環境基本計画の改定を行う予定。
- ・気候変動適応法に基づく「地域気候変動適応計画」についても新たに策定し、第3次上尾市環境基本計画に含めた構成となる予定。

《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
佐藤委員	国の第6次環境基本計画が示されて、県も県の環境基本計画を改定する作業を進めている。その中では、ネイチャーポジティブや30by30、環境とウェルビーイングの関係に踏み込むような内容になっている。そういう観点を考えながら、新しい計画を作っていくと多くの人に古いといった印象を持たれてしまうと思われる。 併せて、カーボンニュートラル、サーキュラエコノミー、ネイチャーポジティブのトレードオフとシナジーの関係を解き明かしながら、優先順位をつけて施策を打っていくということを県も意識して動き始めている。何を優先すべきかを考えながら作っていただければいいと思う。
事務局	それも含めて、しっかりと検討させていただく。

海老原委員	中間報告の素案が見られる時期は、何回くらい意見を伝えるタイミングがあるのか。
事務局	中間報告の素案については、現時点では2月の審議会を目途に皆様に提示できるように進めていくつもり。令和7年度の5月頃に素案をまとめて中間報告書として諮る。 また、来年度については、審議会を3回予定しているので、審議会ごとに進捗状況に応じた計画を確認いただければと考えている。
海老原委員	令和7年度の3回の審議会は、全て環境基本計画の審議に充てられ、意見を言うことができるのか。
事務局	3回目は計画の内容が固まった形で、ご審議いただくことになる。
海老原委員	私たちが意見を言えるのは、令和7年2月と5月と7月の審議会になるということか。
事務局	そのとおり。ただし、7月は、8月開催になるかもしれない。
海老原委員	その3回では、ある程度意見を反映できるということによいか。
事務局	そのとおり。来年度の最後の審議会での計画の修正というのは難しいかと思われる。
海老原委員	次の審議会のときに、意見が言えるタイミングをお示しいただきたい。
事務局	承知した。
前委員	アンケートの間15で取り上げてもらっている住宅の断熱、省エネ、再エネについては、地球環境のためという視点もあると思うが、どちらかという健康快適な暮らしを守ることや電気代の節約につながるという分かりやすいメリットをアピールしてもいいのではないか。環境保全をより広めていくためには、環境保全にピンと来ないような人にも動いてもらえるように、分かりやすいメリットが伝わるようにしてもいいのではないか。
事務局	検討する。
安田委員	計画の改定に当たっては、改定の方針や大枠を決めていく必要がある。意見をすべて反映させて盛りだくさんという形になると、結局、管理できなくなる。私案では、一つの項目に対して、3つぐらいの施策に絞り込まないとお互いに大変で、中身が薄くなってしまう。 現行計画の2ページ目に記載されている計画の位置づけを整理し、それに則って改定の議論をすべきではないか。
事務局	令和3年3月に策定し、10年間を見据えた計画である。こうした中で、時代の変化で変わってくるものもある。計画の位置づけを整理し変えられるもの、変えられないものと考えて進めいかないといけない。進捗管理の方法も含めて少し考え方を考えていってもよいのではないかと考えている。
磐田会長	計画の方針については、県からの指摘も織り込み、次回までに固めていただくことを検討いただきたい。
海老原委員	第6次総合計画の後期と改定時期が重なるかと思うが、本計画の改定に当たって制約等はないのか。
事務局	総合計画側からの申入れがなければ、基本的には制約はない。

磐田会長	総合計画とは切り離せないものだと思うが。
事務局	議論の内容で、総合計画の大枠で決まっているものに反することはないと考えているが、必要であればすり合わせをしていく。

その他

市民・事業者アンケートの案を作成したので、意見がある場合は令和6年8月14日までにアンケート案に係る回答書を提出していただきたい旨、説明。

《質疑応答》

発言者	議題・発言内容・決定事項
佐藤委員	このアンケートは、計画改定に当たって基礎データを集めるためのアンケートなのか。
事務局	基礎データを集めるためのアンケートである。ご意見については、添付の回答書を提出いただき、事務局にて反映できるものできないものを精査していきたい。
海老原委員	修正ができない設問は、どれか。
事務局	市民向けの間7と間13である。
市村委員	アンケートの設問に回答を誘導するものはあるのか。また、想定外の回答を期待するのであれば、アンケートの作りに工夫が必要と思われる。また、アンケートの対象者数は。
事務局	誘導はない。対象者数は、市民1,500人、事業者500者である。
安田委員	市民・事業者のアンケートの提出方法は。
事務局	郵送回答とインターネット回答である。
安田委員	市民・事業者の対象者の抽出方法は。
事務局	住民記録からの無作為抽出。
磐田会長	上尾市の環境方針をPRする機会にもなるかと思うが、事務局としてはどう考えているか。
事務局	前回アンケートから5年を経過しているので、現在の傾向を知りたいということ、基礎データを収集したいという意図である。
栗原委員	アンケートは、前回と同様に商工会議所の名簿から500者を抽出する形ということでよいか。
事務局	商工会議所さんの名簿を活用させていただきたい。

以上